

①京都丹後鉄道事業に関する現状の課題

鉄道の利用に関する課題

・利用メリットの不明確さ

地元住民にとって、鉄道を利用するメリットが具体的にイメージできない

・便数の不足

電車・バスともに、便数が少なく、時間帯も限られている

・利用者数の減少:

高校生など鉄道を必要としている人たちがいる一方で、利用者数は伸び悩んでいる

・将来ビジョンの欠如

鉄道の将来的な役割や、地域活性化への貢献度が不明確

財政に関する課題

・赤字の継続

鉄道事業が赤字を続けている

・町補助負担の増加

町が鉄道事業に対して多額の補助金を負担している

・国の財政状況

国の財政状況が厳しく、地方交付税などへの影響が懸念される



①京都丹後鉄道事業に関する意見（自由記入欄より）

鉄道の必要性と維持費に関する意見

- 鉄道の利便性、広域連携の中心としての役割
- 鉄道の維持費と廃止した場合の他の補填維持費の比較
- 税金の使い方に対する疑問、負担額の大きさ
- 人口減少や少子高齢化による利用者減少への懸念
- コストダウンと残していくことの難しさ

利用状況とニーズに関する意見

- 利用者の調査（年齢層、目的など）
- 利用頻度、駅別の利用状況
- バスとの連携、ダイヤ設定
- 町民のニーズ調査
- 利用していない人のアンケート

②地方バス路線支援事業に関する現状の課題

運賃と利用者に関する課題

・運賃の維持と利用者の考察

現行の安価な運賃を維持しつつ、利用者を増やすための新たな料金体系の提案（ICチップ式カードによる割引制度など）

・時間帯による利用者の差

時間帯によって利用者が大きく変動することによる運行効率の低下や、サービスの偏り

運行に関する課題

・運転手不足

慢性的な運転手不足による路線の維持が困難

・路線の廃止

運転手不足を理由とした路線の廃止が懸念される

・バスの本数不足・路線不足

現状の運行本数や路線が、住民の需要を満たせていない

・バスの存続

地域におけるバスの重要性、存続の必要性に対する強い意識

②地方バス路線支援事業に関する意見（自由記入欄より）

利用状況に関する意見

- 利用者の主な目的：通学、通勤、通院
- 乗車人数：少ない、時間帯によって差がある
- 特定路線の利用状況：伊根・蒲入線は利用者が多い
- ダイヤ改正による影響：ダイヤ改正により不便になったという意見
- アンケートの実施：利用者のニーズを把握するためのアンケートの実施を提案

運賃に関する意見

- 運賃の安さ：200円は安すぎるのではないか
- 運賃値上げ：1コイン500円でも良いのではないか
- 運賃と利用者の関係：運賃と利用人数の関係性を検証する必要がある

運行に関する意見

- 運転手不足：運転手不足が深刻な問題
- 路線数・本数：路線数・本数が不足している
- ダイヤ改正：ダイヤ改正による不便さ

②地方バス路線支援事業に関する意見（自由記入欄より）

地域全体に与える影響に関する意見

- ・ バス事業の存続：バス事業の存続が危ぶまれる
- ・ 地域活性化：バス路線の充実が地域活性化につながる
- ・ 観光資源の不足：観光資源の不足が課題
- ・ 桑飼地区の推進：特定地域の活性化



事業者との連携に関する意見

- ・ 丹海との連携：丹海との協同事業を構築する
- ・ 行政の取り組み：町役場の努力を評価する一方で、アンケート調査など、さらなる取り組みを期待する

その他に関する意見

- ・ バス事業の課題：運転手不足、運賃の安さ、利用者数の減少など、バス事業が抱える課題
- ・ 住民の意識：バス事業への関心の高まり、住民参加の意識

③地域内公共交通に関する現状の課題

利用に関する課題

- ・利用者数

利用者が少ない

- ・予約方法

アプリが使いにくい、予約方法の周知不足

- ・情報発信

デマンド交通に関する情報が十分に伝わっていない可能性がある



運行に関する課題

- ・他の交通機関との連携

町営バス、乗合交通との運行の整合性が取れていない

- ・利用料金

料金適正化、タクシー料金との比較

③地域内公共交通に関する意見（自由記入欄より）

利用者に関する意見

- ・ 利用者層：高齢者など、スマートフォンに慣れていない層が多い
- ・ 利用頻度：人口減少に伴い、利用頻度が減少する可能性がある
- ・ 利用時間帯：利用しやすい時間帯が限られている

サービス内容に関する意見

- ・ 運賃：運賃の安さ、障害者割引の必要性、1利用あたりの費用
- ・ 運行範囲：伊根町全体での運行の要望
- ・ 予約システム：アプリの使いやすさ、高齢者への配慮



周知・広報に関する意見

- ・ 周知不足：デマンド交通の存在が十分に周知されていない
- ・ 利用方法の説明：スマートフォンの操作が苦手な高齢者への説明不足

京都丹後鉄道支援事業

(課題)時間帯による利用者の差 ⇒ **アンケートを要望し、参加する。**

(課題)バスの存続の危機 ⇒ **バスを利用する。**

地方バス路線支援事業

(課題)利用者が増えていない ⇒ **利用者を増やす。**

利用者が少ないことを知ってもらう。

(課題)乗車状況が少ない ⇒ **なぜ、利用しないのかを考える。**

地域内公共交通に関する意見

(課題)アプリが使いにくい ⇒ **説明会や動画を見る。地域で支え合う。**

(課題)利用者が少ない ⇒ **乗ってみようという意識を持つ。**